

きじょう おしほん
机上の推本

ティーンズコーナー担当のちょっとオススメ 2019 春

「ペンギンは短足じゃない図鑑」

著者名・編者名/さかざき ちはる
出版社/復刊ドットコム
請求記号/Y726-サ

ペンギンは自分の身長と同じ高さまで跳び上がれる！？森に住むペンギンもいる！？ペンギンにまつわるエピソード、ほら話など収録。意外と奥深いぞ、ペンギン。

「葉桜の季節に君を想うということ」

著者名・編者名/歌野 晶午
出版社/文藝春秋
請求記号/B913.6-ウ

2004年あらゆるミステリー賞を総なめにし、いまでも多くの人に読まれ続けているミステリーの名作。素人探偵のもとに持ち込まれた靈感商法事件の意外な結末とは。

「和菓子のアン」

著者名・編者名/坂木 司
出版社/光文社
請求記号/913.6-サ

和菓子屋でアルバイトをしているアンのもとを訪れる不思議なお客様と出来事。今までなかった和菓子ミステリー。そんなに興味がない和菓子がつい食べたくなります。

「特別授業 3.11 君たちはどう生きるか」

著者名/あさの あつこ [他]
出版社/河出書房新社
請求記号/Y369-ト

この席に座る皆さんは、ずっと昔の災害に思うかもしれません。3.11をきっかけに浮き彫りとなった課題を、国語、倫理、経済など様々な分野からあらためて考えてみよう。

「女生徒 乙女の本棚シリーズ」

著者名/太宰 治
出版社/立東舎
請求記号/Y913-ダ

今から80年前の少女も、朝是最悪な気分だし、眼鏡の自分が嫌だし、雑誌の「若い女の欠点」という見出しに自分のことを言われてるようで恥かしくなったりしたんです。

「日本語どっち!？」

著者名/北原 保雄
出版社/金の星社
請求記号/Y810-キ

「明日、部活に来れますか？」この日本語、間違ってます。言語は可変の文化。私を含め今や多くの人々が使用していますが、やはり社会では正しい言葉遣いを心掛けたいですね。

「モノクロイラストテクニック」

著者名/jaco
出版社/玄光社
請求記号/Y726-ジ

白と黒の2色でイラストを描くテクニックを紹介した本。布の質感や髪につや、フルカラーイラストとはまた違った美しさがあります。見るだけでも楽しめる1冊です。

「生きもののお宅拝見！」

著者名/北村 雄一
出版社/保育社
請求記号/Y481-キ

タイトルの通り、生き物たちの「お宅」を紹介した本です。オナガサイホウチョウという鳥は蜘蛛の糸で葉を縫って巣を作るそうです。なんだか童話の世界みたいですね。

「ブレストガール!」

著者名/今井 雅子
出版社/文芸社
請求記号/YB913.6-イ

「お仕事小説」って働いたことないけど共感できるのかな? そう思ったらぜひ読んでみてください。この小説は広告代理店の“高校生ブレーン”となった女子高生たちが主人公です!

「アブナイおふろやさん」

著者名/山本 孝
出版社/ぼるぶ出版
請求記号/E-ヤ

おふろやさんの中を探検する少年たちの物語。少年たちの豊かな想像力が大冒険を生みます。「男ってホントバカ」と思っているあなたにおすすめ。

「悩む力」

著者名/姜 尚中
出版社/集英社
請求記号/159-カ

内容は平易と言い難いですが、現状を悩みながらも生きていく私達を認めてくれるような一冊です。「自分はこの先どうすればいいんだ」と悩むあなたにおすすめ。

「下流社会」

著者名/三浦 展
出版社/光文社
請求記号/361.8-ミ

今から10年程前、「1億総下流社会」となると予想して波紋を呼んだ新書。今日の私達の生活と、当時のこの本のAmazonレビューを比べて読むのがおすすめ。